

広報

今 帰 仁

なきじん

毎月1日発行

1999

6月

NO.283

●今帰仁村の人口

男4,809人(+1) 女4,766人(+1) 計9,575人(+2)
世帯数3,313戸 (+21) 平成11年4月30日現在

今帰仁御神



北山キング、全員野球で劇的な

サヨナラ勝ち、西日本大会出場

北山キング(石川清陸監督)がいこいの村少年野球選手権大会で松田クラブ(宜野座村)を4対3で破り、堂々の初優勝を飾った。

決勝戦のクライマックスは松田に1点リードされた七回裏(最終回)だった。北山は二番玉城の内野安打で同点としたあと、三番与那嶺がセカンドへ痛烈に弾き返し、三塁走者上間がガッツポーズでサヨナラのホームを踏んだ。

その瞬間、全員がベンチを飛び出し興奮と歓喜の輪の中で、選手の間からはうれし涙がとめどなく流れた。

北山のエース上間は五試合で防御率1の安定した投球を見せ、殊勲賞を獲得した。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで作ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなで作ろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで作ろう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなで作ろう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで作ろう 平和で明るい活力のある村を

「学校教育と社会教育が一体となった活動を目指して」 学力向上対策委員会総会を開催

平成元年度に県の学力向上推進地域の指定を受け、これまで様々な施策を展開してきた学力向上対策も今年で十一年目。年々その成果が着実に現れている。

係者約百五十人が参加して村コミュニティセンターで開催された平成十一年度学力向上対策委員会総会では、昨年の取り組みの成果と課題を分析しながら、十三年度までの学



▲実践発表をする今帰仁小「緑の少年団」

対推進期間においては学校、家庭・地域、行政の連携した支援活動のもとに、「自らの問題を自ら解決していく能力の育成をもとめて」の研究主題で取り組みを継続していくことを確認した。



▲総会であいさつする大城藤夫学対委員長

内各市町村と肩を並べるまでに向上した。今後は学校教育と社会教育が一体となった活動を目指していきたい」とあいさつした。



春の交通安全運動スタート 暴走、飲酒運転防止を訴える



▲大城勝助役らを先頭に交通安全を呼びかける

「小さな手 大きくみせて わたろうよ」をスローガンに春の全国交通安全運動の出発式および村民大会が五月十一日、村コミュニティセンター西側広場で開催された。

大会で村を代表して大城勝助役は「運転者と歩行者がお互いに交通ルールを守り譲り合いの心で事故のない地域づくりを目指していただきたい」とあいさつ。

今年度の運動の重点目標は、①子どもと高齢者の交通事故防止②シートベルトの着用促進などの二点。出発式のあとパトカーの先導でドライバーに交通安全を訴えながら、ずけやまスパーまで約一キロのパレードを行った。

交通安全全区民の会を結成 全区民で交通事故防止に取り組む

仲宗根区

「事故のない、明るく、住みよい区づくり」を目的に、このほど結成された仲宗根区交通安全全区民の会（与那嶺雄源会長）の総決起大会が四月二十五日、今帰仁中学校グラウンドで開催され、区民をはじめ関係者約六百人が参加した。

大会で与那嶺会長は「本日の総決起大会を契機に区民一人ひとりが交通安全の普及と

高揚を図り、事故のない安全で快適な仲宗根区をつくりましょう」と参加者に呼びかけた。

また、区で組織を結成し交通安全運動を推進するのは区内で初めてであり、仲宗根区では現在子どもたちの登校時間に合わせて各種団体の協力のもと、交差点に交通指導員を配置。全区民で交通安全に取り組んでいる。

村内の新入学児童が交通安全体験学習、 事故の怖さ、学ぶ

新入学時の交通安全キャンペーンの一環として四月十七日、村内四つの小学校（兼次、今帰仁、天底、湧川）の新生一年生百四十人、幼稚園児九十二人を対象に体験型の交通安全指導が今帰仁自動車学校（仲尾次実校長）で実施された。

これは本部警察署と本都区交通安全協会が主催して行

われたもので、児童・園児らは署員の指導のもと、信号機の正しい見方やダミー人形を使って飛び出し事故および交差点での巻き込み事故の怖さを改めて実感したようだった。

また、信号機のある交差点では、左右を見ながら小さな手を大きく上げて元氣よく渡っていた。

海洋博マーチングフェスティバル 最優秀賞に天底小



県内の小中高校十五校六百十人が参加して五月四日、恒例の第十四回海洋博公園マーチングフェスティバルが同公園噴水広場で行われ、自由演技部門小学校の部に

の二曲を披露し、会場から惜しみない拍手が送られていた。

当日は、ゴールデンウィーク期間中とあって多くの家族連れや観客で会場を埋め尽くした。

小学校の部で二番目に登場した天底小は、渡慶次淳子先生の指揮のもと、息の合った演奏で「エクセル」と「リパブリック賛歌」



▲息の合った演奏を披露する天底小バンド部

仲宗根と渡喜仁で

区民運動会

和気あいあいさわやかな汗



▲手を使ったらダメだよ～! パン食い競走

また、学事奨励会は昼食前に行われ、関係者が児童生徒を激励した。一方、渡喜仁区

運動会は、幼稚園児や小学生による駆けっこ、パン食い競走、老人会・婦人会のみんなで踊ろう、親子リレーなどで盛り上がり、最後は各班対抗郷友会リレーで幕を閉じた。



▲久しぶりにハッスルするお母さんたち(親子リレー)



▶チャリティーゴルフ始球式 (嵐山ゴルフ倶楽部)

四月二十五日、仲宗根区(与那嶺雄源区長)の第十四回区民運動会が今帰仁中学校

晴天に恵まれ、絶好の運動会日和のこの日、一組から四組までのお年寄りや子どもたち、お父さん、お母さんが綱引きや駆けっこ、玉入れ競争といった種目にさわやかな汗を流した。

(豊里友邦区長)でも「区民の健康保持と明るく住みよい区の建設」を目的に五月十六日、区民運動会が村総合運動公園で開かれ、区民や郷友会員ら約百五十人が参加して、楽しいひとときを過ごした。

上位入賞者

	(クロス)	(ハンディ)	(ネット)
優勝	佐渡山 安 輝	82	13.2 68.8
2位	玉城 和 男	98	28.8 69.2
3位	高安 高 治	94	24 70
ベストクロス	与儀 実 治	74	
男子	高良 初 江	82	
女子	優勝 仲宗根チーム		
団体			

第十三回村親睦チャリティーゴルフ大会 村育英会へ七十五万円贈る

絶好のゴルフ日和に恵まれた四月十九日、第十三回村親善チャリティーゴルフ大会が嵐山ゴルフ倶楽部(パー72)で開催され、村内外からゴルフファン総勢二百七十人(六十九パーティ)が参加した。大会は村社会福祉協議会と村育英会の活動資金造成並びに、この機会を通して村出身

者が一堂に集い、お互いの親ほくを図るのが目的。当日は午前七時にアウト、インに分かれてスタート。ゴルフファンたちは力んでOBをたいたたり、バンカーにつかまったりと悪戦苦闘しながらもグリーン上では絶妙なパットでボールを操り、それぞれの持ち味を出していた。

また、午前十一時半には大城勝助役ら三人による始球式も行われ、赤や青の煙りがフェアウェイ一面に広がり大会を盛り上げた。表彰式は、村コミュニティセンターで開かれ、各パーティがゴルフ談義に花を咲かせていた。

大会には多くの方々から商品などの寄贈がありました。ご芳志ありがとうございました。なお、収益金七十五万円が村育英会に寄付された。

「屋根より高いこいのぼり」。四月二十七日、村社協(上間敏雄会長)主催による恒例のこいのぼり掲揚式が村コミュニティセンター玄関前で行われた。これは子どもたちの健やかな成長を願って行われるもの。

今年も仲宗根保育所と中央保育所の年長児合わせて四十三人が、元気よくこいのぼりの歌を合唱。掛け声に合わせて行われるもの。

また、村社協から園児たちやデイサービスのおいじちゃん、おばあちゃんにプレゼントのお菓子が贈られた。

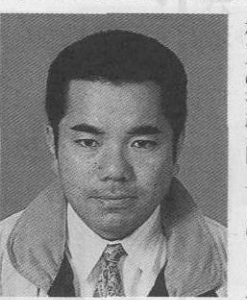
保育所の園児ら四十三人元気よく合唱、こいのぼり掲揚式



▲上間会長と一緒にこいのぼりを掲げる園児たち

支部功労者 座間味薫さんら 表彰

商工会青年部北部支部通常総会



▲新城吉成さん

商工会青年部と婦人部が総会、部長代わる。村商工会青年部(比嘉隆部長)の通常総会が「見つめ直し 今 更なる地域づくりを!」スローガンに四月二十四日、婦人部(金良道子部長)が「参加しよう 地域に根ざした婦人部活動と 部員相互の資質向上をめざして」



▲功労者表彰される座間味薫さん

また、これまで長い間商工会員として同支部支部の発展に貢献した功績により座間味薫さん(玉城九二)、座間味淳さん(仲宗根二七八)、稲嶺盛正さん(湧川二〇五)がそれぞれ功労者表彰された。

をスローガンに四月二十七日、それぞれ村商工会館二階ホールで開かれた。両部とも議案審議では平成十年度事業報告と決算、十一年度事業計画など三議案を原案通り承認した後、任期満了に伴う役員改選で新しい青年部長に新城吉成さん(仲宗根)、婦人部長に仲原照子さん(今泊)が選出された。

新城新青年部長は「これまで先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎ、青年部の力を結集して地域活性化に努めたい」と抱負を述べ、また仲原新婦人部長は「部長として私ができるだけできるかわかりませんが、部員の協力のもとで住みよい地域づくりと婦人部の資質向上に努めていきたい」と決意を語った。



▲婦人部の新役員です(写真左端) 仲原照子新婦人部長

駅伝王国復活 見事三位

やんばる駅伝伊是名島大会



▲上位進出を目指して記念撮影

「やんばるは一つ」の合言葉で、第九回やんばる駅伝競走伊是名島大会が五月八日、伊是名村総合グラウンドを発着点に行われ、本村は見事三位入賞を果たした。

大会には、北部十二市町村と鹿児島県与論町を含む十六チームが参加し、九区間四二・一九五キロに熱戦を展開した。

本村は序盤少し遅れたものの徐々に地力を発揮。二区島袋誠(二位)、三区山城利幸(三位)、七区内間エリ



(区間賞)、八区宮里晃(二位)と四区間で三位内に入る力走を見せ、総合三位でゴールに飛び込んだ。

また、五十代で四十代の区間(四区)を快走した新城正男選手や二十年ぶりに村代表として出場した往年の名ランナー嶺井政義選手(六区)の健闘が光った。

閉会式でこれまで同大会に連続五回出場した城間喜光選手が功労者表彰された。



▲優勝に笑顔のマリーズヤング

各職場や同好会などから十三チームが参加して四月二十五日から五月十八日の間、第三十二回村野球大会が村運動公園と村宮グラウンドで開催された。

今帰仁城を『琉球王国の城・遺産群』世界遺産へ推薦

五月二十一日に開催された国の文化財保護審議会で文化庁は、本村の今帰仁城跡を含む本島の首里城、中城城、斎場御嶽など九つの「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」を世界遺産登録に向けて、正式に推薦することを決定した。具体的には世界遺産委員会

センターによる約一年半の審議を経て、二〇〇〇年末にも今帰仁城跡の世界遺産登録が期待されている。これまで本村では、歴史文化遺産の環境確保に関する条例を制定するなど登録に向けて取り組みを強化してきた。これが登録されると、人類共

投打の歯車ガッチリ
マリーズヤング 初優勝!!!
第32回村野球大会

れ、マリーズヤングが今帰仁クラブを六対五で破り、職域・同好会の合同大会になってから初めての優勝を飾った。

相手ピッチャーの立ち上がりを攻め、マリーズが3点を先制。その裏今帰仁クラブはヒットと真栄田隆之選手の大大会第一号のホームランなどで一挙4点を奪いあっさり逆転。四回にも1点を追加し、そのまま逃げ切るかに見えたが、六回マリーズはヒット二本を畳み掛け、逆転に成功。上間太樹投手の力投で一点差を守り切った。

- ◆殊勲賞―上間太樹(マ)
- ◆敢闘賞―与那嶺久(今ク)
- ◆打撃賞

- 一位 嘉手刈 真(マ)
- 二位 我那覇春樹(マ)



写真にみる今帰仁 運天の間切役場(番所)と百按司墓

92

大正五年まで運天に今帰仁間切(村)番所(後の役場)があったことはよく知られている。その割りに番所や役場の様子を描写した記録や写真が極めて少ない。今回は今帰仁間切役場の写真と百按司墓の図を紹介しよう。

行)の中に今帰仁間切役場とみられる写真と百按司墓の図がある。文面や他の写真から今帰仁間切役場とみられ、建物は瓦屋根で壁は板である。菊池氏は「琉球と為朝」で運天の役場や百按司墓や為朝に

ついて述べている。その一端を掲げると、「われ等の今宵の宿と定めた今帰仁間切役場は欄腰塚を後に背負った海岸にある。…今宵の宿所ほど気に入ったところは無いと思っ

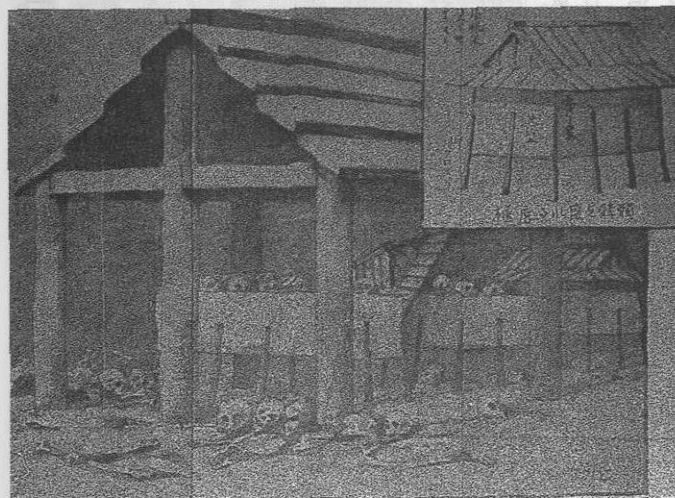
た。… 間切役場は湾の奥、船つきの極めて安全なところに建てられてある。…役場の建物は昔の番所をそのまま用いているのも嬉しい。役場の前には一列に大きな福樹が数本他に又五本の榕樹が枝を連ねているが、その中三本の榕樹は凄まじい大きさのものだ。琉球にはそこそこ随分巨大な榕樹があるが、こんな立派なものは余り類が無い。… この榕樹の外に内地に見馴

れぬ枝振りの、四五本の熱帯樹古巴梯斯が適宜の間隔を置いて港を守る番兵のやうに立っている」と役場や周辺の様子を記してある。 下は百按司墓の図で、明治三十九年当時の百按司墓の第一墓所の様子である。丸太の柱を組み、棟木と八枚の屋根板を置き、屋型である。その中に人骨を入れる木棺が四基置かれ、周辺に頭蓋骨が散乱している。同書に「…唐櫃が四基あった。この唐櫃の高さ二尺幅二尺長三尺程の者で、これに黒塗りの古風な脚がついて居る。内地の唐櫃とほぼ同じであるが、ただ蓋がなく、その代わりに破風作り…朱塗地に黒塗の棧が細かく打ってあるのが乗って居る」とある。

菊池幽芳氏が名護を訪れたのは明治三十九年三月十八日。北山城を訪れるため、渡久地村し今泊村へと迂回し、運天村に着いたのは二十二日である。案内役を勤めたのが今帰仁出身で、当時国頭郡役所の書記をしていた仲村源正氏である。



▲今帰仁間切役場(番所)「琉球と為朝」所収



▲運天の百按司墓(欄腰塚)「琉球と為朝」所収

「琉球と為朝」から一部掲げてみたが、役場や墓などの描写から、運天の歴史や番所を紐とく貴重な史料である。

仲原 弘 哲 (歴史文化センター)



◆予防接種について◆

村保健センターにおいて、毎年就学前の子どもたちを対象に、法律で定められた定期接種の機会を設けています。

- 一、ポリオ（小児まひ）
- 二、ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT三種混合）
- 三、麻疹（はしか）
- 四、風しん（三日はしか）
- 五、日本脳炎
- 六、ツベルクリン反応・BCGが挙げられます。これらの予防接種は、受ける時期（年齢）が決められています（およそ三カ月～七才半の間）。

（免疫）は、百日せきや水痘（みずぼうそう）では生後三カ月、麻疹やおたふくかぜでは生後八カ月ごろまでは、抵抗力が体内に保有されます。この時期を過ぎると、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。子どもの発育と共に外出の機会が多くなりますが、保育園や幼稚園に入るまでには予防接種で免疫力をつけ、伝染病にかからないように予防しましょう。

また、小学校・中学校に在学している生徒で、まだ受けていない（または病気としてかかっていない）予防接種がありましたら、早急に受けさせるようにしてほしいものです。最近では、このような病気がはやっていないので、別に受けなくてもいいんじゃないか？と思いがちですが、あらゆる場所へ感染する危険性はあるのです。病気の流行は、これまでの予防接種で抵抗力をつけているからこそ抑えられているということをお忘れな

〈予防接種の有効性〉

予防接種を受ければ百分の病気にかからないことを原則としていますが、もしかかっただとしても軽い症状だけで済みます。普通健康な人に生ワクチンを接種した場合、九六～九八％の方は抗体を保有することが出来ます。日本脳炎やDPTは、追加接種で免疫が一生涯続くようにつくられていますので、決められた回数を受ける必要があります。

※ポリオの追加接種について

厚生省が一九九四年に実施した調査で、一九七五（昭和五〇）年から一九七七（昭和五二）年の間に生まれた人は、なぜか抗体の保有率が他の人より低かったという結果が出ています。抗体がないと、予防接種を受けた子どもからの感染が希に起こるほか、患者の多い国に渡航した際の感染も心配されるため、前に述べた期間中に生まれた方は追加接種をお勧めします。

〈麻疹について〉

麻疹は昔から「命定め」といわれ、重い病気の一つに挙げられてきましたが、現在でも命にかかわる重要な病気です。麻疹は、麻疹ウィルスの飛沫感染（くしゃみやせき）によって起こります。主な合併症としては、気管支炎・肺炎・中耳炎・脳炎があります。患者百人中、中耳炎は七～九人、肺炎は一～六人に合併します。脳炎は二千～三千人に一人の割合で発生がみられます。また「亜急性硬化性全脳炎」という慢性に経過する脳炎は約十万人に二例発生します。感染力が強く、発疹がでる前からすでにうつるので集団や家庭では感染を防ぐことが不可能です。

現在もつとも確実な方法は予防接種です。村では一才半の子を対象に予防接種を行っています。新聞報道などでは一才児でも亡くなった例があるということです。一才未満及び七才半以上の子は、接種を病院で必ず受けて下さい。

〈風しんについて〉

風しんは、これまで女子のみが接種の対象とされてきましたが、現在では男女共に対象となっています。新聞報道によると、現在十一才から十七才までの女子の接種率が激減しているということがわかりました。このことは、風しんが流行した場合に妊婦が感染し、障害児が生まれる可能性が高いことを示しています。受けていない子は、早期の接種をお勧めします。

以上、予防接種について述べましたが、現在、村保健予防課で行っている定期接種の判断は親の責任となっています。お子さんの健やかな成長のためにも、是非受けさせてほしいものです。

何かご質問がありましたら、お気軽に村保健センターにお問い合わせ下さい。

保健センター
五六―一二三四

区民長寿あやがる

松本キクさん盛大に

カジマヤ



▲オープンカーで村内をパレードする松本キクさん

さんの長寿を祝った。キクさんは一九〇三年十一月二十日生まれ。第一次大戦、満州事変、太平洋戦争などの激動の時代を生きて抜いてきた。子どもは故幸一郎さんとの間に九人。今でもアロエ畑の草取りをするほどの元氣者。

当日、パレードの車には、カラフルな花飾りと風車を取り付けられ、崎山の自宅を午後一時出発し、村内を約一時間かけて回った。各区の沿道では、待ち受けた区民が長寿を「あやがる」とカチャリを踊って歓迎した。

長女の山城キミ子さん（七十三歳、崎山五〇）は「母は若いときから海が好きでいまでも散歩がてら出掛けは自然を楽しんでいる。それが長生きの秘訣では」と話していた。

また、公民館での祝賀会は家族による「かきやで風」や区消防団の飛び入りの余興など多彩な出し物でにぎわい、キクさんは参加者一人ひとり

崎山区の松本キクさんのカジマヤ祝いが五月一日、同区公民館で盛大に開かれ、玄孫（やしやこ）まで一族五十人を

含む大勢の区民がキクおばあ

在宅介護支援センター開所 二十四時間体制で受付「和光園」

本村在住で六十五歳以上の何らかの援助を必要とする老人および身障者に総合的な在宅サービスを提供する村在宅介護支援センター「なきじん」がこのほど完成し、そのセレモニーが四月二十四日、上間博安村長をはじめ関係者多数が参加して老人保健施設和光園で行われた。

同センターは、村の委託を受け、村福祉課の窓口として



▲牧草採種実験施設の落成を祝いテープカット

各種サービスの利用手続きを代行。介護に関する相談を二十四時間体制で受け付けるほか、障害者などの日常生活に欠かせない介護機器の貸し出しも行う。そして看護士やソニーシヤルワーカー三人体制で四月一日から業務を開始している。

セレモニーで与那国浩明所長が「役場と連携をとりながら利用者によりよいサービス

祝 今婦に村在宅介護支援センター開所



▲祝辞を述べる上間博安村長

ができるよう努めていきたい」とあいさつ。また、上間博安村長は「高齢者が安心して暮らせるような立派な施設にしたい」と同センターの活動に期待を寄せた。

県牧草採種実験室落成、暖地型牧草の新品種開発に期待

県が農水省の指定試験事業を受け、平成九年度から県畜産試験場に建設計画が進められていた牧草採種実験室がこのほど完成。五月十二日、畜産関係者多数が参加して落成式が行われた。

式で小那覇安優農林水産部長は「この施設を十分活用し本県に適したすばらしい暖地

型牧草の新品種を開発していきたい」とあいさつした。

この実験室の完成により牧草として必要な高収量、年中利用できる周年利用性などの特性に加えて採種性の高い品種を選抜でき、本県畜産生産の一層の低コスト化と経営の安定が期待される。

ことばの教室が 「今帰仁村障害児通園(デイサービス)事業・スイミー」に変わりました。

このほど、皆様に慣れ親しんできた「ことばの教室」が村からの委託事業となり「今帰仁村障害児通園(デイサービス)事業・スイミー」という名称に変わりました。これまでの「ことばの教室」が更に幅広くなり、心身に何らかの障害をもつ子どもに対し(通園の場を設けて)適切な指導を行い、その育成を手助けすることを目的としています。

また、今年度から学童の受け入れもスタートし、指導員も心新たに頑張っていこうと意欲満々です。スイミーは、お子さんに対し、何らかの悩みをもつ親御さんが気軽に足を運んでもらえる場を目指しています。ぜひ、ご利用下さい。

- 対象
- ◎今帰仁村民であること
 - ◎通園による指導になじむ障害のある幼児を原則とする
(ただし、事業の目的、地域の実情を考慮し、適当と認められる小学生も利用できる)
 - ◎但し、伝染性疾病を有しない者

- 学童対象
- ◎今帰仁村民であること
 - ◎幼稚園(5才から小学校12才)までの養護学校(又は盲学校、聾学校)の幼稚部、児童部、幼稚園の加配対象児童、小学校の特殊学級に在籍している児童

(指導内容とプログラム開設時間 午前9時～午後5時 月～金)

時間	内容	時間	内容(学童保育)
午前9:00	指導 ・個別指導 ・集団指導 ・生活習慣 おやつ指導 ・よみかかせ	午後1:00	指導 ・個別指導 ・集団指導 ・生活習慣 おやつ指導 ・よみかかせ
午後5:00	自由あそび	午後5:00	自由あそび

- 集団指導：人と人のコミュニケーションを持つことによって社会性、協調性を身につける
- 個別指導：言語指導、色あそび、音あそび、絵カード、パズル等
教育相談・子育て相談……随時受付
お問い合わせ・申し込み先
今帰仁村社協 障害児通園(デイサービス)事業スイミー TEL(代)56-4742
今帰仁村役場 福祉課 TEL(代)56-2101

「一滴の水からつくろう 新たな時代」 第41回水道週間 6月1日～7日

「ごみ減量・リサイクル推進週間」 5月30日から6月5日まで

- 村社会福祉協議会へ
- ◎与那嶺勝さん(崎山二二〇)より母、マツ子様の香典返しとして十万円
 - ◎与那嶺一広さん(仲尾次三三)より父、新蔵様の香典返しとして二十万円
- 村育英会へ
- ◎第十三回村親善チャリティゴルフ大会の収益金として七十五万円
- ※ご芳志ありがとうございました。

ご寄付

水道集金 検針員 代わる

四月一日付けで、これまで二十年余り玉城、呉我山、湧川の水道集金・検針員として頑張ってきた田港朝幸さんの後任に、新里良子さん(天底一六四―二)が決まりました。また、仲宗根では兼次翠子さんから与那京子さん(天底一六二)に代わりました。田港さん、兼次さん長い間ほん

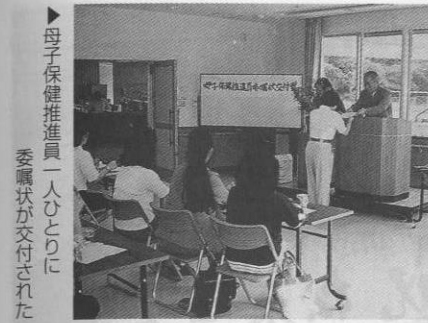


▲新里良子さん



▲与那京子さん

とうにご苦労様でした。新しい検針員に村民の皆様のご協力をよろしく願います。



母子保健推進員一人ひとりに
委嘱状が交付された

妊産婦や乳幼児等を訪問し母子保健に関する助言や相談、地域に密着した活動を行う目的で、平成十一年度母子保健推進員の委嘱状交付式が四月二十七日、午後二時から村保健センターで開かれ、大城勝助役から母子保健推進員一人ひとりに委嘱状が交付された。



▲久田友江さん



▲外間春美さん

委嘱状交付式

仲宗根と天底で母子保健推進員代わる

久田友江さん(天底五二九)にそれぞれ代わりました。新しい推進員の皆さんをよろしくお願います。
また、式終了後には「子どもの自己主張、自己抑制の発達と大人の関わり方」の演題で本村上運天出身の島袋恒男琉球大学教授の講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

あまから伝言板くまから

児童手当とは

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。



6月は児童手当 現況届の提出期限です

児童手当(特例給付)を受けている皆さん
児童手当現況届は、毎年1回すべての受給者自身が出す届です。この届は受給者の前年の所得状況と現在の養育状況などを確認するための届です。

なお下記の日程で受付しますので、年金加入証明(国民年金加入者は不要)、印鑑をご持参下さい。
受付場所 役場 福祉課

児童手当を受給できる人

3歳未満の児童を養育している方で、前年(1月から5月までの月分については前々年)の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

詳しいことは村役場福祉課児童福祉係へお問い合わせ下さい。 ☎56-2101

児童手当の額

児童手当は、第1子及び第2子は月額5,000円、第3子以降は1人につき月額10,000円となります。
なお、手当は毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

日時	午前9時～午後4時まで
6月15日(火)	今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次、崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根
6月16日(水)	玉城、呉我山、湧川、天底、勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利

くらしの中に国民年金 大丈夫?あなたの年金

保険料を未納にしておくと
国民年金に加入したからといって、保険料を未納のままにしておきますと、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金が受けられなくなる場合がありますので忘れずに納めましょう。

6月/水無月

1	火	○デイサービス (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00コミセン) ○心身障害児通園事業 (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00コミセン)
2	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30保健センター)
3	木	○1才半・3才児健診 (保健センター) ○区長会 (14:00~2階会議室)
4	金	
5	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○村青少年の主張大会 (14:00~16:00コミセン)
6	日	○村ソフトボール大会
7	月	○健康相談 (9:00~11:00保健センター)
8	火	○今帰仁郷友会資金造成チャリティーゴルフ大会 (那覇カントリー)
9	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30保健センター)
10	木	○離乳食実習 (保健センター)
11	金	○DPT予防接種 (保健センター)
12	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○小学生ムラ・シマ講座
13	日	○壮年ソフトボール大会
14	月	○日本脳炎予防接種 (3才) (保健センター) ○健康相談 (9:00~11:00保健センター)
15	火	
16	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30保健センター) ○狂犬病予防注射 (モレ) ○牛セリ (セリ市場)
17	木	○歯科相談 (保健センター)
18	金	○区長会 (14:00~2階会議室)
19	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)
20	日	○父の日 ○海神祭 (運天漁港)

21	月	○健康相談 (9:00~11:00保健センター)
22	火	
23	水	○慰霊の日
24	木	○デイケア
25	金	○村老人クラブ大会 ○「朝読み・夕読み」表彰式
26	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)
27	日	○天底小運動会
28	月	○健康相談 (9:00~11:00保健センター)
29	火	○日本脳炎予防接種 (3才) (保健センター)
30	水	

7月/文月

1	木	
2	金	○村老人グランドゴルフ大会
3	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○国頭郡野球大会 (4日まで)
4	日	○村PTAバレーボール大会 (村民体育館)
5	月	○区長会 (14:00~2階会議室) ○日本脳炎予防接種 (3才児モレ) ○健康相談 (9:00~11:00保健センター)
6	火	
7	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30保健センター)
8	木	
9	金	

編集後記

■五月十一日から二十日にかけて春の全国交通安全運動がスタートした。因に、平成十年度全国の交通事故死亡者は九千二百十一人でこれは本村の人口に匹敵する。これだけたくさんの人たちが一年間に交通事故で命を落としていると思うと全くぞつとする。

■私もそうですが、車を運転したことのある人ならだれでも年に何度か、一歩間違えれば大惨事につながる場面に遭遇したことがあるのではないだろうか。交通事故防止には、ドライバーと歩行者がお互いに交通ルールを守り、譲り合う心が大切です。

■ドライバーの皆さん車を運転するときは、かがえのない家族のことを忘れずに安全運転に心掛けましょう。

■また、このほ他の市町村に先駆けて仲宗根区交通安全区民の会が結成され、交通安全運動も一段と盛り上がりを見せています。この取り組みが本村だけにとどまらず、県内各地に波及していくことを心から期待したい。